

光を採り込む豊富な扉デザインをご用意しています

扉デザイン別の光の入り方



枠・子扉による採光



扉の横にガラスを配した枠。型ガラスを採用すれば、外からの視線の遮断や防犯にも配慮可能です。

扉上部にガラスを配した枠。横幅にゆとりがない場合も、採光が可能です。

親子ドアを選んだ場合、子扉（小さい方のドア）で採光することも可能です。

扉の片側に子扉、もう一方に袖を配した枠。左右からの採光を確保しつつ、子扉で開口スペースを広くできます。

外からの室内の見え方は？

窓には型ガラス（表面に型模様を付けたガラス）を採用。昼間は、室内照明をつけなければ、外から室内が見えにくいつくりです。夜間は、室内照明をつけると、外から室内が見える場合があります。

※画像はイメージです。光の当たり方や環境により見え方が異なります。

昼間の見え方



夜間の見え方

